

オープンさせた博物館で祖先が残した資料を両手に笑顔を見せる功さん



蔵を活用しミニ博物館をオープン 和算家の祖先の功績を未来へ残す



かつら いさお
桂 功さん (79 歳)

西根森在住

和算研究家。今年 10 年前から構想していた博物館を自宅にオープン。妻と二人暮らし。

桂ミニ博物館

入場無料。功さんが在宅時に鑑賞可能。要電話予約。

☎ 功さん (☎ 44-4416)

「和算家の祖先茂吉が残したものを伝えるため」と自宅敷地内の蔵を利用して「桂ミニ博物館」をオープンさせた和算研究家の功さん。「祖先の功績は私の誇り。一人でも多くの人に茂吉の功績と和算について知ってもらいたい」と広く呼び掛けている。

功さんは、10 年ほど前に自宅の蔵を掃除していた際、和算関係の資料や巻物、掛け軸など多数発見。知人から「これは和算だ」と教えられ、祖先が何をしてきたのか知りたくなったことがきっかけで自身も研究者から学びながら研究を進めた。研究をスタートさせ祖先の功績を理解していく中で「いつかみんなに見せたい」という思いを抱いていたという。それを後押ししたのが妻の喜美子さんだった。「家に博物館があるのいいね」と一言があったから開館までたどり着けた」と感謝する功さん。博物館は昨春秋ごろから蔵の内装を夫婦の手作りで改装。今年 3 月 1 日にオープンさせた。館内は茂吉が残した和算資料のほか、掛け軸や神楽の巻物等約 50 点を展示している。

「和算だけではないが分からないことが分かるのが楽しい。そこが魅力だな」と今も研究を続ける功さん。「興味がある人はぜひ見てもらいたい。子どもでも大人でも歓迎する」と偉大な祖先の功績を未来へと伝える一歩を歩みだしていた。

和算とは・・・日本独自に発達した数学のこと。
江戸時代の数学者関孝和以降大きく発展した。

広報日記



広報担当となり 3 年目を迎えました。今年度も皆さまどうぞよろしくお願ひします。

4 月になり温かくなると思いきや急な雪。皆さんは体調など崩していませんか。私は、冬の寒さを耐えるために蓄えたお肉と運動不足のせいとか、先日何もない所でつまずき体調ではなくバランスを崩してしまいました。寒いと動きたくなく、こたつと一体化していましたが、春の訪れとともに運動を少しずつ始めようと決意したところです。運動不足な私ですがフットワークを軽く今年度も町内各地取材に伺わせていただきますのでよろしくお願ひします。

人口と世帯		3月31日現在	
		※()内は前月比	
人 □	15,569 人	(- 18)	
男	7,888 人	(± 0)	
女	7,681 人	(- 18)	
世帯数	6,000 世帯	(+ 12)	